

8の字宣言

四国は、美しく豊かな自然をはじめ、多くの資源と四国八十八ヶ所お遍路に代表される地域固有の優れた文化がある。地域の強みを活かし、連携によって自立的に発展する「癒しと輝きのくに」四国の創造のためには、道路は欠くことのできない最も基礎的な社会基盤である。

特に、「四国8の字ネットワーク」は、本州四国連絡高速道路と一体となって、全国の高規格道路ネットワークを形成することで、物流をはじめとする様々な経済活動や交流を促進し、四国の活性化に大きな効果をもたらすものであり、その早期整備は、四国の切なる願いである。

しかし、四国東南部及び西南部においては、ミッシングリンクが存在し、高規格道路ネットワークが形成されておらず、豊かな自然、多様な地域資源が活かされず、産業の不振、過疎化の進行など、他地域との格差が拡大している。

近い将来、確実に襲って来る南海トラフ地震に備え、災害に強い国土を形成し、国民の安全・安心な暮らしを確保するためには、「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクの解消、及び暫定2車線区間の早期4車線化等の道路整備を着実に進めていく必要がある。

また、本州四国連絡高速道路への全国共通料金の導入は、地域の産業の発展、観光・交流の活発化等にとって極めて重要であり、四国の悲願である。国においては、平成26年度から全国共通料金を確実に導入するため、必要な準備を着実に進める必要がある。

以上により、四国の総意として、次の事項について強く提言する。

- 一、国の骨格を形成し、地域の自立と交流拡大を図るとともに、日々の暮らしを支え、大規模災害時には「命の道」となる「四国8の字ネットワーク」は、国の責任において、必要な予算を確保し、ミッシングリンクの解消及び暫定2車線となっている区間の4車線化も含め、一日も早く整備を行うこと。
- 一、地域の活性化や連携強化のほか、緊急輸送道路としての機能が最大限発揮できるように、スマートインターチェンジの増設を図るとともに、サービスエリア、パーキングエリアの防災拠点化を図ること。
- 一、将来にわたり、道路ネットワークとしての安全性・耐久性を確保するため、利用者負担による計画的・安定的な資金の確保を行い、戦略的な維持管理・更新を図ること。
- 一、本州四国連絡高速道路については、平成26年度から確実に全国共通料金を導入するとともに、割引についても、地域間格差のない制度とすること。

平成25年8月1日

四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会

四国経済連合会会長	常盤	百樹
徳島県知事	飯泉	嘉門
香川県知事	浜田	恵造
愛媛県知事	中村	時広
高知県知事	尾崎	正直